



Team Wakayama News

【第27号：平成26年12月1日発行】

アイスホッケー競技が33年ぶりの近畿ブロック予選突破！ 第70回国民体育大会冬季大会への出場権獲得！！

紀の国わかやま国体まであと300日となる11月30日（日）、第70回国民体育大会の先陣を切るアイスホッケー競技近畿ブロック予選1回戦において、滋賀県に4-0で勝利し33年ぶりの本国体（1月に開催される群馬国体）出場を決めました。

長年、選手が揃わず近畿ブロック予選に出場できていなかった和歌山県アイスホッケーチームですが、約4年前、津田兼司監督と県の担当者が中心となり新しくチームを立ち上げ、「近畿ブロック予選突破！」を目標にゼロからチーム作りに取り組んできました。さらに、県内にはアイスリンクがないことから、選手たちは仕事を終えた深夜、近隣府県のアイスリンクに集まり、個人練習やチーム練習に汗を流してきました。恵まれない競技環境の中でも努力と工夫を積み重ねてきた末の目標達成です。

また、当日は本県から約300人の大応援団が、アウェイである滋賀県まで応援に駆けつけ、スタンドから本県選手団に熱い声援を送りました。まさに、選手とスタンドが一体となって勝ち取った勝利！来年の「紀の国わかやま国体」総合優勝に向けて大きな励みと勢いになりました！！



【津田兼司監督】のコメント

4年前に、新しく立ち上げたチームの目標が「近畿ブロック予選突破」でした。今日のゲームでは、その目標を達成することができ、今はホッとしています。昨年の近畿ブロック予選ではとても悔しい思いをしたので、この1年間、ディフェンスの強化に取り組んできました。今日の試合は、理想的なゲーム展開だったと思います。選手全員がベストを尽くし、さらにたくさんの応援団が選手の力になりました。スタンドと選手が一体となって頑張ることができました。ありがとうございました。

1月の群馬国体に向けてあと2か月！8位入賞以上を目標に、さらにチームを強化していきます。

【清水カキヤブテン】のコメント

45分間ずっと和歌山らしいホッケーができたことと、決定的なチャンスをものできたところが勝因だったと感じています。

皆様の応援が本当に僕たちの力になりました。応援していただいた方へ勝利という恩返しができたと思います。

遠いところ応援に来ていただき、ありがとうございました。

